

旭川WBC・旭川市教育委員会共催

連携公開講座「あさひかわ学」

11月11日（木）PM6時～7時半『病気の子どもたちのための心理社会的支援』



「医療保育」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？保育士というと街中の保育園で働いているイメージがあると思いますが、小児病棟の中でも保育士は活躍しています。病院の中で子ども達に笑顔を届ける病棟保育士、ホスピタル・プレイ・スペシャリスト（HPS）についてお話していただきました。

※参加 30名 旭川でも病児保育での支援が始まっていることを知り嬉しく思う。ホスピタル・プレイ・スペシャリストという専門の資格があることを知りその役割について興味深かった。（アンケートから）※

11月13日（土）PM2時～3時半『あさひかわと自然科学』



あさひかわと自然科学とのつながりを浅く、広く「物理学的な考え方」で捉えることが可能なのか、未来のあさひかわにプラスになる何か新しい芽を見出すことへの挑戦についてお話していただきました。

※参加 22名 自然を科学する森羅万象を不思議に思い、物理的な視点で他のものを考える面白さを学びました。旭川の見直しに役立つ部分があるように思う。（アンケートから）※